

有限会社ほんだ菓子司

北海道砂川市

生産性向上

需要獲得

担い手確保

ものづくり

サービス

ポイント

社員の主体性を引き出す人材育成システムの構築と熟練技術の標準化により生産性向上を実践

- 経産省施策の活用を通じた設備投資等により、熟練技術の標準化と従業員の多能工化による生産性向上を実現
- 各部門のリーダーに女性を積極登用し、現場改善の権限と責任を委譲。現場主体の人材育成システムを構築
- 後継者による新経営戦略の実行により、販路の多様化、来店客層の拡大、農業参入挑戦を推進

企業基本情報

所在地	北海道砂川市西1条北11丁目2番26号
電話/FAX	0125-52-6321/0125-52-6326
URL	http://ringo-club.jp/top.html
代表者	代表取締役会長 本田 日出雄
設立	1948年
資本金	1,000万円
従業員数	50人



会社概要

同社は、かつて炭鉱で栄えた北海道砂川市にて炭鉱労働者に甘味を届けたいという思いから1948年に菓子店を創業。りんごを主体とした和洋菓子を製造・販売し、北海道内に7店舗を展開。菓子屋は農産品加工業という考え方のもと、農業者との共存共栄を目指し、地元産のものにこだわり地域に貢献することを信条。近年は、店内に菓子作り体験工房を設置するほか、店外に自家農園を併設するなど、独創的な店作りで新規店舗を増やし事業拡大を進めている。



会社外観

革新的な製品開発や創造的なサービスの提供に関する取組の内容

熟練技術の標準化および従業員の多能工化で生産性の向上

ものづくり補助金や生産性向上設備投資促進税制など経済産業省の施策の積極活用により、菓子の需要増に対応するための設備投資を実行。これまで熟練工しかできなかった作業（暗黙知）を自動化・マニュアル化（形式知化）することにより、菓子の製造を標準化。また、1人の従業員が複数業務を担当できるように多能工化を推進。品種や数量に応じた柔軟な生産体制を構築するとともに品質・生産性の向上・安定化を図っている。



ものづくり補助金を活用して導入したアップルパイ生産性向上機器

女性リーダーの積極登用と現場主体の人材育成システムの構築

各部門（製造工場、各販売店舗）のリーダーに女性を積極的に登用。特に販売店舗7店の店長は全て女性。各リーダーに現場の改善計画作成及び実行の権限と責任を委譲し、PDCAサイクルで進捗状況を評価。取引先事業者や金融機関等を対象とした経営方針発表会で各リーダーが計画実行の成果と次期計画を報告。現場の主体性を高める仕組みを構築。また、職務と職責に応じたモデル行動指針を現場主体で作成し、評価制度を構築することで人材の底上げを図っている。



各店舗店長による経営方針発表

新分野進出および独創的な誘客策の実行、農業分野への挑戦

商圏人口が減少していく中、後継者による新経営戦略として、従前の客層による店舗販売に依存しない販路の多様化を図るため、通販サイトの立ち上げ、首都圏の百貨店催事への出店、海外需要開拓のための新商品開発、商談会参加、テスト輸出などの外販強化や、店舗内キッズスペースの設置、親子ケーキ作り体験の実施、SNSによる情報発信、新ブランドの立ち上げなど来店客層の拡大を実行。また、将来の農業労働力減少に備え、原材料安定調達のため自治体と連携し農業参入に着手。



新ブランドの立ち上げ